

株式会社 Beache

(ビーチェ)

会社概要

- ・所在地 京都府舞鶴市
- ・業種 ペット服の企画・販売
- ・資本金 310万円
- ・設立 2008年3月
- ・従業員数 3人
- ・URL <http://www.rakuten.co.jp/peachrover/>

1 自社ブランドを立ち上げ全国へ

日本海若狭湾に面し、重要文化財にも指定されている旧海軍の赤レンガの建築物が建ち並ぶ舞鶴市。2008年3月、この地で産声をあげたのは、ペット服の企画・販売を行う株式会社Beacheである。前奈津子社長（37歳）を含む従業員3名全員が女性の同社は、“BEACHE HOLIC（ビーチェ・ホリック）”をはじめとする自社ブランドを立ち上げ、大手通販サイトや国内のペットショップを通じた全国展開を行っている。特に、小型犬に特化したペット服はカジュアルなデザインが特徴で、多くの顧客を虜にしている。



ヒットブランド“BEACHE HOLIC”が同社の躍進を支える

2 同社を支える中国の生産委託先

同社の商品の人気と品質を支えているのが、中国にある生産委託先の工場だ。子供服も顔負けの刺繍に、着脱が楽にできるよう工夫された裁断。日本製と遜色のない出来栄だが、現在の技術水準になるまでには相当の苦勞を要したという。「縫製や染めの工程など、改善すべき点は多かったです。当初、委託先の人達は、ただのペット服を作っているという感覚でした。我々が作りたいのは、家族の一員となら変わらないペットに着てもらふ服。まず両者のギャップを埋めることからはじめました」と、前社長は当時を振り返る。

この課題を克服したのは、何度も中国に足を運び、関係者とミーティングを繰り返す前社長のバイタリティであった。工場長だけでなく、各工程のリーダーやベテラン職員とも意見交換をすることを欠かさなかった。「クレームをつけるために、わざわざ中国を訪れた訳ではありません。モノ作り職人に対するリスペクト（尊敬）の気持ちをもちながら、良い

商品を作っていくにはどうしたらいいか、作業工程や検品体制に改善の余地はないか、お互いが切磋琢磨できる環境づくりをどのように構築したらいいか、とことん話し合いました」と妥協しない姿勢を買いた。

抜群の行動力を示す前社長であるが、意外にも今回の生産委託先と取引するまで、海外に行ったことはなかったそうである。「もちろん、中国語は話せないので、通訳の方に頼ってばかりです。けれど、良い商品を作ってお客さまに喜んでもらいたいという思いが、『言葉を超える』瞬間もあります。現地スタッフとの距離が近くなるにつれて、『あうん』の呼吸を感じることも度々です」と語ってくれた。前社長のコメントは、これから生産委託先を海外に求めていく事業者が、いかにして現地と連携していくかを考える一つの例を示してくれる。

3 売上10倍、パワーも10倍

過去2年で、売上を10倍アップさせている同社の躍進はとどまることを知らない。2012年9月、舞鶴市のリーディング産業チャレンジファンドに採択された。獲得した助成金1,000万円を使い、消臭糸を使用した機能性の高いドックウェアを企画。デザインだけでは売れなくなってきたペット服市場において、消臭グッズという切り口でウェアを販売し、さらなる顧客開拓を目指す。

また2012年12月、生産委託先の工場を経由して「ぜひ、貴社の商品を取り扱いたい」と韓国の企業からアプローチを受けた。翌年8月にソウルのショッピングセンターでペット服ショップをオープンすることを決定。日本公庫からは、出店の際に必要な費用の融資を受けただけでなく、日本貿易振興機構（ジェトロ）による情報提供サービスを紹介してもらった。韓国出店にあたって、独資がいいか、合弁がいいかなど、同機構アドバイザーからアドバイスを受けることができ、非常に参考になったという。

「色々なことにチャレンジできるのは、私の右腕以上の動きをしてくれるスタッフのおかげです。これからも地元女性の雇用を確保しつつ、全員一丸となって、舞鶴という地を盛り上げていきたいです」と笑顔で語ってくれた前社長のパワーに、ますますの可能性を感じた。



前社長（中央）をサポートする柚村さん（左）と福島さん（右）